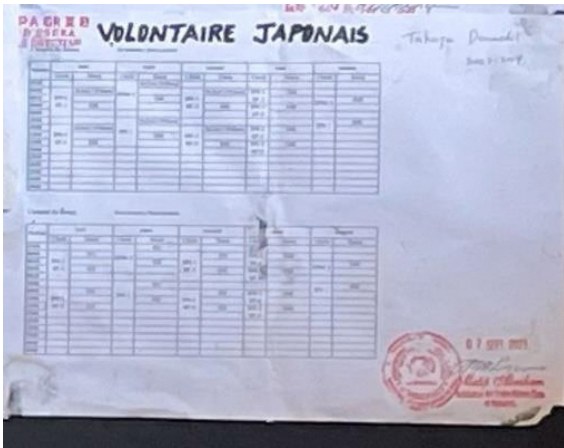


# カメルーン★どうでしょう

2023年10月  
カメルーン通信 No.12  
JICA 海外協力隊  
出町 卓也

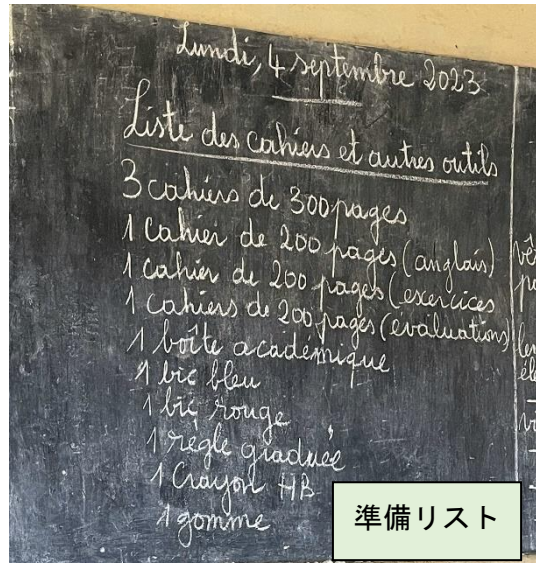
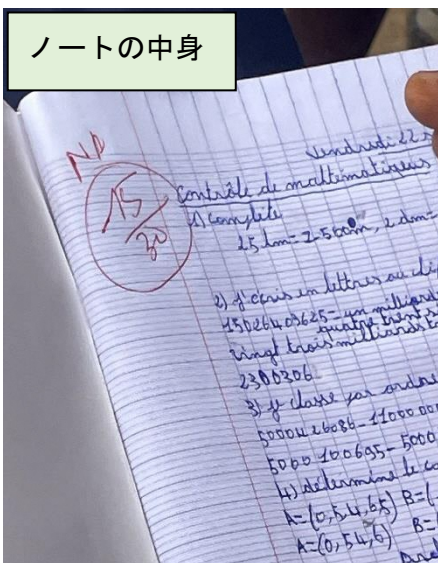
## Liste des cahiers et autres outils pour les enfants.



Bonjour! カメルーンからでまちはです。新年度がスタートして1ヶ月。新しい教室、新しい時間割によりやく慣れ、落ち着いてきました。昨年度から先生の異動もほとんどなく、スムーズなスタートが切れました。今年は自分の訪問時間割が校長印つきで教室に掲示されている学校もあり、昨年以上に教員集団の一員として認められていることに嬉しさを感じています。

日本はそろそろ暑さが和らいできたころでしょうか。ここエゼカはもうすぐ雨季が終わる、と周りの人たちが話しています。そのせいか最近日差しが強く、夜も寝苦しくなってきました。気温はおそらく 30℃を超えています。もうすぐ丸1年が経とうとしていますが、年中通して暑さは変わらないようです。

◇新年度で生徒が準備するものは。



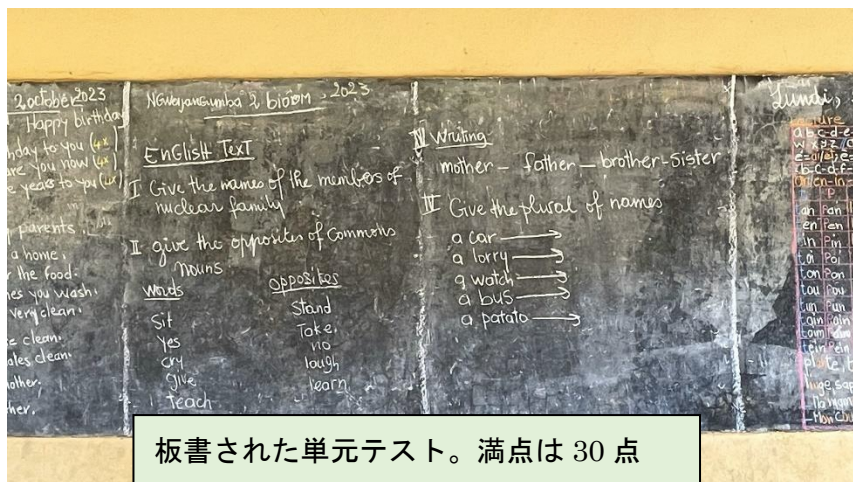
### ノートと他の道具リスト

- ・ 300 ページのノート 3 冊
- ・ 200 ページのノート 1 冊 (英語用)
- ・ 200 ページのノート 1 冊 (練習問題用)
- ・ 200 ページのノート 1 冊 (単元テスト用)
- ・ 三角定規コンパスセット
- ・ 青ボールペン 1 本
- ・ 赤ボールペン 1 本
- ・ 目盛りがついた直定規
- ・ HB えんぴつ 1 本
- ・ 消しゴム 1 個

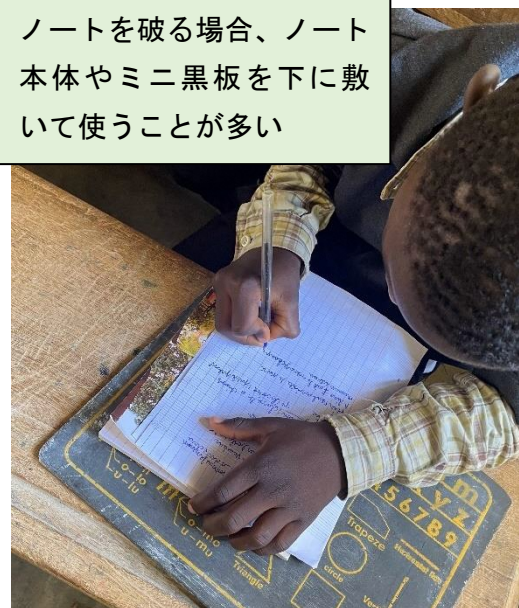
子どもたちは新年度に何を準備して学校に来ているのでしょうか。初日に先生たちが黒板にリストを書いていたので、6年生の教室にあった写真のリストを一緒に確認してみましょう。



まずはノートです。ノートの中身は、写真のような方眼に5線が引いてあるような感じです。フランス語は英語と同じくアルファベットなので、横線があるほうが書きやすい、ということだと思います。最初は縦線が少し邪魔で読みづらかったですが、3年生以降は基本ボールペンでノートをとるので、字が濃くなり、やがて気にならなくなりました。1、2年生はまだ字がうまく書けないので、縦線のない、日本でもよく見る英語ノートのようなものを使っています。



ノートを破る場合、ノート本体やミニ黒板を下に敷いて使うことが多い



このノートを主にフランス語、算数、他教科と分けて使います。練習問題用は全教科対応で、主に黒板に書かれた宿題や問題演習をするために使います。単元テスト用も同じく全教科対応で、各単元終了後に行われる単元テストのために使います。ノートを1冊準備させる先生もいますが、各教科のノートのページを破いて使う先生もいます。日本のようにテスト用紙を配布する機会は、各学期末に行われる試験だけです。単元テストでは上の写真のように先生が黒板に問題を書き、子どもは問題を書き写しながら解いていきます。時間がかかりますが、学年が上がると書くスピードも徐々についていきます。

自分の答えを見せたくて立ち上がる子どもたち



このリストとは別に、子どもたちの必需品があります。『アルドワーズ』と呼ばれるミニ黒板です。ノートは最後のまとめを書き写すために使うので、授業中はこのミニ黒板に自分の意見や問われた問題の答えを書いて、先生に見せます。一度に全体の回答が見えるので、先生側はまるでクイズ番組の司会をしているような気分になります。また、すぐに消して書くことができるので間違いの訂正も容易になり、子ども同士で答えを書くのを競い合ったり、見せ合ったりすることもできます。子ども側にもありがたいアイテムです。

さて、今回は新学期準備リストを見ていきました。そういえば教科書がありませんでしたね。日本のように無償配布ではない教科書は、必ず購入するリストに入っていないので、兄弟のものを使いまわしたり、学校のものを共有で使ったりしています。教科書がない子どもは、家で復習するためにはノートを使うしかなく、授業終わりのノートまとめは大事な時間になります。

一方、始業前や終業後に頭に教科書を載せて校長室まで運ぶ仕事は、子どもたちに人気なのか取り合いになった上で運んでいくことが多く、もはやおなじみになりつつあります。日本との違い、まだまだありますね。

それでは、A bientôt !



頭上に載せて運ぶため姿勢がいい!